

支援プログラム

健康・生活

毎回の検温、手指消毒など健康の維持や、基本的な生活スキルの習得に向け、一人一人の特性にあった課題設定を行います。視覚的支援を中心とした、療育環境の構造化を行います。

また、年齢が上がるにつれ、身体の変化とともに、葛藤も複雑になっていきます。葛藤をかかえつつも自立して生活していくための方法を考え、練習していきます。

運動・感覚

粗大運動、微細運動を組み合わせた活動を取り入れ、姿勢保持や道具の操作など動作の改善を目指します。

また様々な活動を通して、視覚、聴覚、触覚などの感覚の特性を把握することで、日常生活の中で必要な支援を検討します。

認知・行動

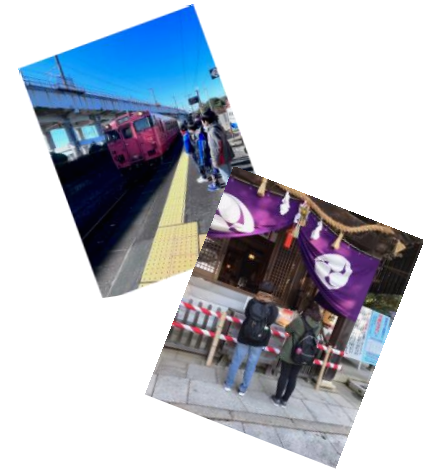
周囲の情報から必要な情報を取得し、行動に繋がられるように支援を行います。行動や情報をスムーズに切り替えられるように支援し、空間・時間・数の概念の定着を目指します。集団療育ではソーシャルスキルトレーニング（SST）を行い、助けを求めたり、他者と協調して活動したりする力を養います。

言語・コミュニケーション

遊びや活動を通して、物事や体験と言葉の意味を結び付け、言語の習得や自発的な発声を促します。学齢期には、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝える力を伸ばすことで、コミュニケーション能力の向上や様々な手段を活用できるように支援します。

人間関係・社会性

遊びや活動を通して、物事や体験と言葉の意味を結び付け、言語の習得や自発的な発声を促します。学齢期には、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝える力を伸ばすことで、コミュニケーション能力の向上や様々な手段を活用できるように支援します。



主な行事・・・

初詣、避難訓練、調理実習、お花見、木工工作、
軽スポーツ、映画鑑賞、美術館観覧、お買い物
etc・・・

（職員の質の向上）

複数の視点からお子さんの発達を促していけるよう、様々な研修会に積極的に参加します

（移行支援・地域支援・地域連携）

関係市町、他の福祉サービス事業者、学校、保育園、幼稚園など関係機関との連携します

（家族支援）

本人、ご家族（きょうだい含む）の日常生活における相談、助言を行います。